



各 位

2024 年 3 月 5 日

会 社 名 パレモ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 福井正弘
(コード番号 2778 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役管理担当 太田直人
電 話 番 号 0 5 2 - 5 8 1 - 6 8 0 0

2024 年 2 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2023 年 9 月 19 日に公表しました 2024 年 2 月期（2023 年 2 月 21 日～2024 年 2 月 20 日）の通期連結業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（2023 年 2 月 21 日～2024 年 2 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	16,700	650	620	750	62.36
今 回 発 表 予 想 (B)	15,950	360	335	405	33.67
増 減 額 (B - A)	△750	△290	△285	△345	—
増 減 率 (%)	△4.5	△44.6	△46.0	△46.0	—
(ご 参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 3 年 2 月 期)	17,513	527	580	562	46.82

2. 業績予想修正の理由

売上高におきましては、上半期は比較的順調に推移したのち、下半期に入りますと、アパレルは、記録的な残暑や暖冬傾向もあり苦戦する局面が見られたものの、気温の低下に合わせて冬物の販売は堅調な推移となりました。その一方で雑貨は、コロナ禍における巣ごもり消費、家ナカ需要の反動により、衛生商品や生活雑貨等の販売が伸び悩みました。このようなことから、下半期の既存店売上高前年比が前回予想の前提条件である 101.7%から 93.9%となった結果、前回予想を 750 百万円下回る見通しであります。利益面におきましては、円安や原価高騰の影響が続いたことで売上総利益率の改善は見られず、また、不採算店舗の撤退や、経費削減の取り組みによる営業費の低減も効果は限定的であったことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ前回発表数値を下回る見通しであります。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上